新撰

江戸名所図会

六

巻之六

深川
[illegible]
[illegible]
[illegible]
本所
牛嶋
大橋
石原
[illegible]
中之郷
[illegible]
[illegible]
[illegible]
小村井
隅田川
小梅
牛田
[illegible]
[illegible]
下総
真間
中山
袖の浦

ル4
3228
6

ル4
3228
6

江戸砂子温故名跡誌巻之六

沾凉纂輯

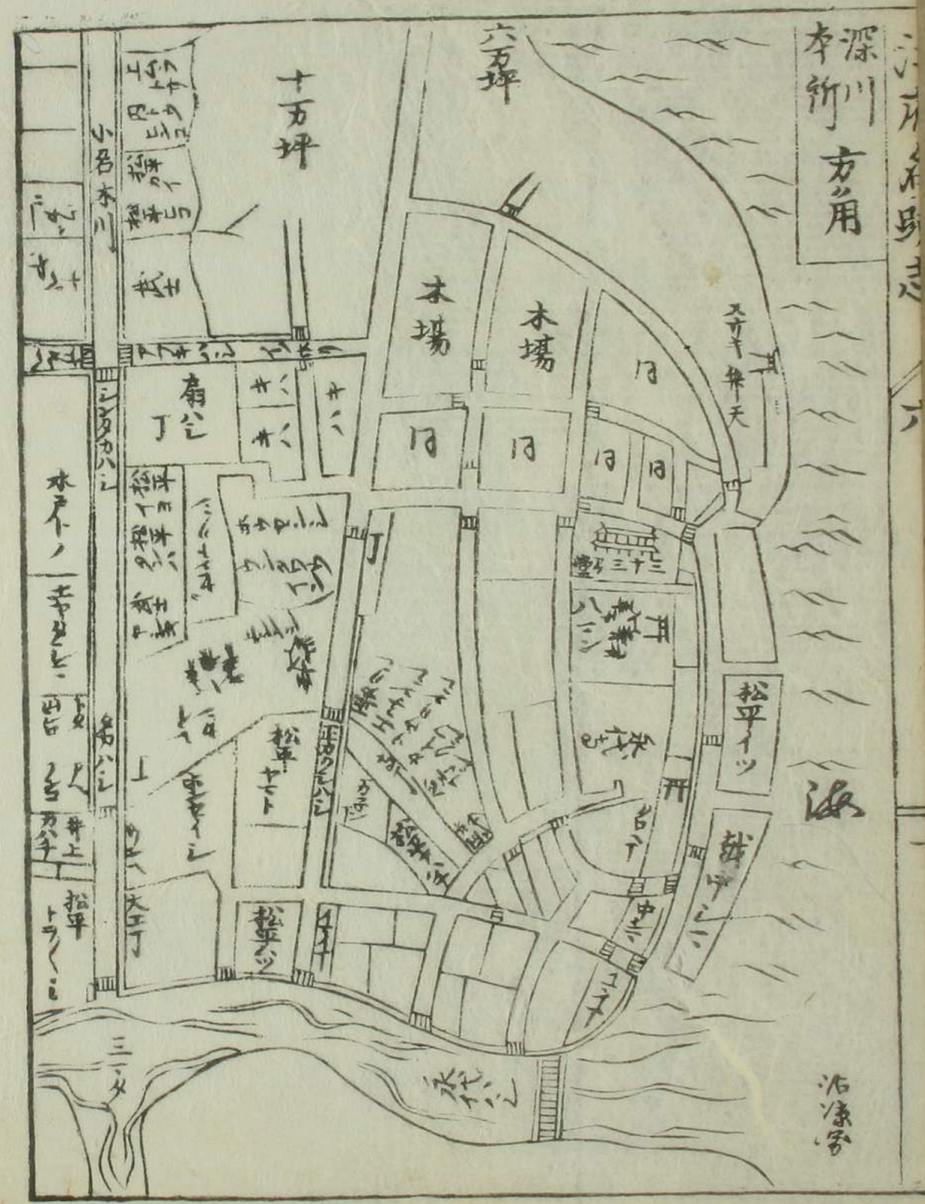
早稲田大学図書館

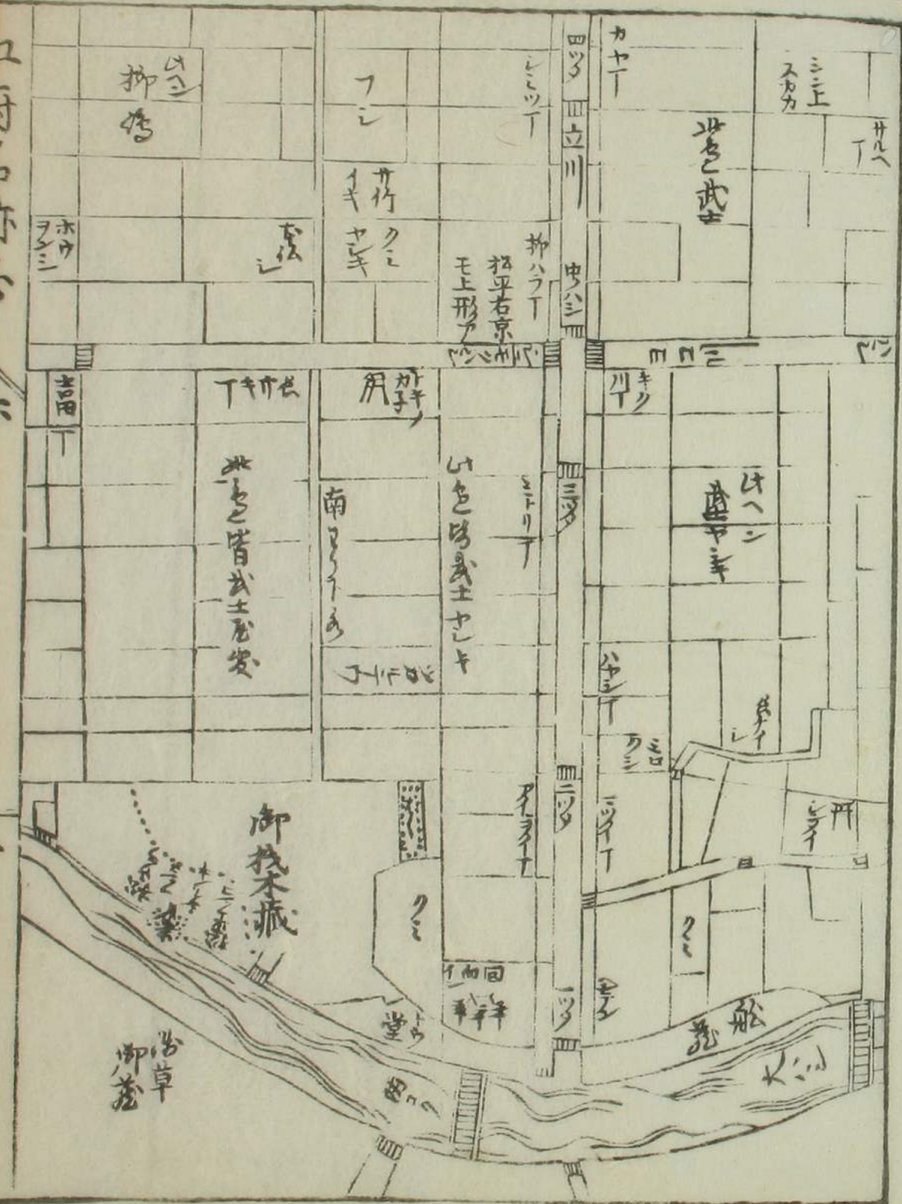
二十 深川 葛飾郡西葛西領 洲崎 六間堀 海ノ上名所

廿一 同 本所 牛鳴 猿江 大嶋

廿二 同 中ノ郷 亀戸 隅田川 木下川

廿三 追加 下総国 葛飾郡 真間 国府臺 袖ノ浦 中山


深川本所方用
六万坪
十万坪
小名木川
木場
木場
扇橋
松平イツ
越ヤシキ
松平ヤシキ
松平ヤシキ
海


立川
御蔵米蔵
浅草御蔵
船蔵

○葛飾郡

此郡上代武蔵の国なりしを中ごろ下総国に属せしなり下総国の中にあるとも和名抄に隅田川を武蔵国と云ふ葛西の名のごとく下総国と云ふ葛飾郡は往古のごとく葛飾郡にて

を云ふ隅田の頃あるべきなり

武蔵国属し武総のさかひ利根川をさかひなり隅田川は大里郡足立郡一つなり

利根川は上野国赤城山のふもとを流るる荒川と云

武蔵国の中を流るる下総の方へ流れ出る恐のごとく上野国荒川

隅田川を武蔵と下総のさかひなり伊勢物語にも隅田川

この郡八上古はあるべきなり武蔵国

下総の方へ大河なり利根川と荒川とを

源彩郎元春衡退治の時軍勢を郡ごとに[東鑑三云]仍武蔵上野

両国内党等者従于加藤次景廉葛西三郎清重等可遂

合戰下略又天平記に武蔵国の住人葛西太郎

いふ葛西に利根川の西葛飾郡

葛飾郡は利根川の葛東なり

奉新葛西二つ半幸を板ヶ栗橋まで葛飾郡にて

凡十一万石余の郡なり

或人云下総国に葛飾郡

ゆへ割のごとく中ごろ

十万石の郡なり

此郡一郡なるを利根川をさかひ

下総の一郡に

陸奥国に並びて国名の郡あるは

尾張に近ゆへ無

郡は尾張国情をさかひてあり

陸奥国並びてあり

国並びて

八代郡　神崎郡　加茂郡　七ヶ国にあり

久米郡ホイ三ヶ国にあり

二十 深川　六間堀　洲崎

富岡八幡宮

又鹿河八幡宮ともいふ　別當大栄山永代寺金剛神院

鎮座鶴岳明社　左右伊勢春日也　中興開基周光阿闍梨

名所記曰　神殿六柱神の御作源頼朝公を崇敬し給ふ千葉介常胤の子足利義氏へつとめられ猪俣基氏牧氏の官位上板垣殿一名田乃灌ふく信仰し給ふ寶永元年の頃長盛法印主事の時あり永代橋ふかるる事を建立し同八年ひのとの巳成就し二十年八月十五日ふかるる慶安四年の頃法華堂普門寺の僧鶴馬を行じ

せられ官幸となる同年の秋神幸ありて御輪馬を行じ

ものと鶴岡の法式をうつす

東鑑二卷　治承五年辛丑五月十三日鶴岳若宮営作始

寶有其沙汰上肥次郎實平大庭平太景能等為奉行

又云同年七月八日浅草大工泰上之間被始若宮営作　下略

東鑑九卷　文治五年四月三日鶴岳祭二品御参宮馬場儀

馬長十　流鏑馬十五　競馬三番　下略

又　續石集云　和列生駒岳勤幸乃間山宝山和尚正保三年十八歳にして永代寺開山の男梁の弟子なり寛文四年願八幡宮を和尚霊夢のありて浅草大隅寺にて石成

犯人を不日にして社威霊を今の深川富岡八幡宮に

万治三年の夏御室の宮

永代の業所

当社四隅鎮守

東北須賀宮　荒神社　丑寅　辰巳

摩利支天社　大勝金剛社　未申　戌亥

右の四社境内を鎮護し給ふ

東北の方に立所にあり

寺院

功德院　多門院　吉祥院　大聖院　海雲院　芝深院

〇耳組橋　正德の頃園女と云女俳諧の宗匠三十六歌仙
さくらをもうのるよりはいはしとすはいのこまてり
海人は夕べ浦の秋と　橋うり世　常盤潭北

〇一ノ島井　十ゟ五三ツ西の方にあり此所に古代寺の瓦文字ありし事
より門前に茶店あり　鱧　蛸　蛤　寺内の名物なり

〇三十三間堂　八幡八東　塔頭久寿持

本尊千手観音　東大佛一三十三間堂なり京ゟ八堂間
みしし京間四間のさうもし堂のしるの堂供通　矢数大
概京の橋なりはしめハ浅草にあり元禄年中此所に
〇堂八形ひらく起立の時分数の波門堺屋
堺屋平右の棟木をもらひ
波門病死をさうの屋止すを好を不用して巧通

成就をその印よりつく堺屋了堂地ゟ堂を建る今に
堂守の住所ハ堺屋ゟ出をはる

〇洲崎年才天　八幡の東　別当海潮山増福院吉祥寺　後堂院末

開基知足院隆光大僧正　元禄十癸巳年紀ゟ
隆光俗正字ハ栄春河辺氏なり慶安巳丑二月八日生元禄元年ゟ
知足院ゟ住し二年を経て神田橋ゟ移し後増院と号ハ
当院開ハ海辺ゟ出ひらし江戸繁の遠西浪平ひらし
別当の墓　乾ハ江戸しづ名ゟ　西ゟ根の方
小ハ法ゟ孫のかをうつして住　景の使なり

〇満德稲荷社　別当尚知光院　ふくの大二郎

〇佐賀稲荷社　別当清光院　ふくの佐賀郎

〇永代橋　八幡の西を高べ
〇越中橋　永代橋の海辺　越中ゟ反中ゟ
〇末橋　洲崎年才天のひし小ゟ

○十万坪　○十万坪　本物のごとくつくる新製なり

○金岩橋　本橋入舟下くるる入舟下ゟ久宗下
○平野橋　○大宗橋
○湖尺橋　○清河橋
○麦世橋　○要橋
○芝芝橋　○石清橋
○牧田橋　○松橋
○永居橋　○梅永橋
○田中橋　○芝橋
○亀久橋　○吉岩橋
○青海橋　○菊岩橋
○千鳥橋　○赤生橋
○深橋　○新宮橋
○万年橋　○菊川橋

本橋ハ久永下ゟ長四間
久永下ゟ長三間
久永下ゟ長三間
久永下ゟ長三間
長十五間
長十間

○元木橋　佐野下の古代の橋柱物　○妙音寺門橋　弘明の寺門の時代
○佐野河岸　大川ゟ松平信濃守様ゟ
○猫除所　南部ゟ二月ゟ洗濯者を飲ス
○大鳥川　川ゟ二十五日半　○墨江川　川ゟ十五日半
○小名木川　川ゟ二十日　佐野ゟ
○阿宅丸の門地　新大橋の西小名木
○舟玉祠　洗濯の家洗小名木の門
あ[illegible]丸の船玉を御祭せ[illegible]
○高橋　長十八間　小名木川後海ゟ
○六百坪　大川の西ゟ　川ゟ九百坪
○神明宮　六間堀　別当　猪江　兵糧寺　[illegible]
[illegible]
○伊奈橋　長五間　六間堀
○猿子橋　長五間　上同

○海乃上名所 漁猟の場

○中川 一り半 川くち九千百坪 取口 南不絶の名所

○九蘭 中川口 ○東澪 九蘭の東く春秋の物場 秋の赤大汐の

みちくる時幸ある所し ○横澪 ○中洲 ○三島

○小澪 中洲の先し 汐あのようく大きあり ○ちくり松

○砂取 ○みなと ○幕末 砂取の西の方

○出洲 ちくさの西成の方 ちくさの砂しくさの為に出たり

○三枚洲 ちくさの外辰の方 干潟一里さくし 洲さそ洲ちくの浪至潟

乙卯くてそ新を毎くくそ 三枚洲 川勝又岳

○横倉 三枚洲の内し 中川口ちくさ十六七間 辰巳の方を抜くさる

ちくさ不尋 尋ありて大の二樹を 樹て出 尋 たくさるまたれ

○仙又 積抗 ちくさ不し大尋 ちくさ

○鎌 ちくさ 鎌の不 鎌のくしまの内外の方

の為し日和のうんあるうくさ 小汐ちる大潮の物し

○貝が水増 海くさ三町ケ不○ 畑売洲 ○大洲

○井戸ケ 津先寺 利根川の内

○佃沖 笹澪 ちくさ東を東河洲 西を西河洲 洲くさ

○笹澪 ○東河洲 ○西河洲 三ツ不 春秋の物

○三ツ合 東河洲の巳午 の方六七十ケ 汐谷川ちくさ 大鯰

○出洲 ○蛤時 ○間の洲 出洲の絶 ○碇洲

○東洲 ○樫木 ○真清

○弁天沖 ○上総澪 ○卒澪

○洲地洲 佃表し 御渡汐殿まその百八八十八徳後 統場し

○三ツ澪 ○亀の尾通 ○赤澪 ○深赤澪

○天王洲 不門 天王の徒沖 ○生貝 ○鮫洲沖

○白洲 ○七新 ○冬徳清

兩宮稱東諸釣外師嘉三郎平方角の繪圖あり 毛に奉く記す

○浄土宗　佛国

深川八幡

寺院十石

○道本山霊巌寺　十八檀林の内

開山檀蓮社雄誉上人松風昊巌和尚

上総国小糸の産里見氏なりし頃の東漸し大か蔵を建立
せんとあるに絲く四衆を勧化し一簀を運ぶ人ありて結縁せしめ
者よハ則十念をさずけ血脉をあたへ結縁せしめ
不日にして廣汀変じて清地となる今の霊巌寺是也
開堂義誉の後寛永九年八月九日朝日落の知恩院より
寂年を千時八十歳
第二世珂山和尚の代まで明暦丁酉乃回禄の後世代より
見文海演なり珂山の門人珂碩に命じ造藻しむ
観音堂　江戸三十三所　廿九番　不動堂　勢至堂
江戸六地蔵　五番　念仏堂　聚化寮　浄土院
塔頭　正覚院　栄寿院　長専院　浄松院　善巌院　浄光院

○竜徳山雲光院光巌教寺　知恩院末　寺領五十石　ふか川
開山蓮蓮社徳誉潮香信入大和尚　八世　歴任尊誉上人要阿和尚
△無髪浄昵迦乃侍女阿茶局建立花一位尼しゝ云
寺院伽藍造立乃時　御上より拝領を〻〻一位尼しゝ云
御上乃浄貴物にて一位尼ゟ鵜ゟ又黄金小ゝ数
〻て大の黄金を〻〻建立あるゆへ世人慶長十六辛未年浄慶
元和七辛酉六月十八日　後水尾帝　女御浄心院殿　一位尼ゟ伝
奉しそなる一位尼ゟ任せ〻〻ゟ〻〻ゟ
慶国ゟ直〻〻勅〻〻雲光院の額を鵜ゟ　二品親王良恕乃
御筆し是則一位尼ゟの浅草ゟ浅草寺ゟ
発願の地いる故所に〻〻八千坪地を築ゟ　五尺六尺し
勅命にて〻〻色利義門ゟ為福徳在寺ゟ　猶徳結縁ゟ為
繁〻〻ゟ廣国隆の後国ゟ　ゟ千八百余坪成天和二
国流地ゟ三年今の地にゟ　ゟ千五百余坪　外に四百辛余坪
卵塔場国中徳善ゟ寄進　消ゟ本の浄寺貴地なり

御茶所の跡い高安郡西之京村の内なり
開山上人ハ當國橋玉郡淀西住人と作久村の産天正七年に生民性
不詳　森連川寺住僧十二世　知智国師の弟
よりし　雲光院住職十二ヶ年　後洛の長谷金剛光明寺住十ヶ年
慶安二唐寅四月十三日遷谷塔所清心院閑居ス　寿七十二歳
上作久村地内寺も當開山の創立し則當寺の末寺
塔所　法藏院　浄蓮院　良正院　正光院　一三昧院
正光院　信心院　法華院　仏義院　給青院
樹光院　慈信院　浄心院　浄光院　圓貞院　教光院

當智山室願院本誓寺　知恩寺　寺院三十七　寺川

開山大蓮上人　中興行蓮上人
本尊唐佛　阿弥陀　御尊堂　江戸三十三所　廿八番
石地藏堂　紫仏師ぬい卵塔の外に有り　俗人の墓
なるの比名木あり　享保三戌七月十五日より江都八ヶ所
おなじく直生弟子　この先ハ自然と編集一場仰せ

この記不天然に出ずく思議ものなり　一宇の堂を建て
本尊を仏像　香水あり
當寺ハ当寺所上寺所に有り　天和二年八月廿二日朝鮮三使
到着ハ同廿七日登城　九月十二日発足　同年十二月廿八日帰
大蓮寺より火新り　願堂所　焼し　翌年　再建ス
塔所　法雲院　常照院　勝法院　仁月院　光宗院
本交院　仁林院　浄光院　良仏院　三昧院
教義院　称名院　信心院　自利院　教光院
（塩遠山雅照院委信寺　同末　寺川
開山恵運社本蓮上人去故大和尚　寛永六巳年　寺故本蓮上人
て新立し　本尊阿弥陀　恵心僧都未期願作なり
崇源院殿御幸一依あり　今ハ別願あり
（江の為一体分身の弁　丈天寛盛
開山ハ為菜勝新年十二世勝紫上人し
寺中　信浄院

○双徹山報恩院心行寺　増上寺
開山国誉上人　中興三天誉上人　開国是天和尚　歓住遠誉上人
〈荒巴弥陀　〈三ヶ月不動　〈矢除千手観音　多田満仲の持仏し
寺中　新定院　正青院
○深川山自性院正源寺　同寺
開山南誉上人　寛文十年九月廿二日寂　歓住轟誉上人
○大音山書流院正覚寺　同寺
観音堂　開帳檀金千手　源頼朝の持仏　江戸三十三所　二十番
○日照山寿永院法禅寺　開国　長蓮社心阿上人　知恩　海巴新田
寿永年中古八八重洲　[illegible]　御城[illegible]　御殿[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
塔頭　常照院　宗心院　蓮乗院　玉樹院　南竜院　良信院　寿徳院
寿永院　貞照院

○禅宗伽藍　深川

○永寿山海福寺　黄檗流　玄沼来　寺内
開山隠元老和尚　万治元年戊子十月起立　中興獨女源和尚
○三聖山惠然寺　一谷月桂寺来　同寺
開山別傳今禅師宗文和尚
○福聚山泰耀寺　上州里滝来　海内新田
開山潮音和尚　中興千山和尚　観住元鱗和尚
○大安興国山万祥寺　海福寺来　同寺
開山湛雲和尚　本尊火開地蔵　毎月廿四日懺法
○慧日山真光寺　京浜来　同寺
開山潮音和尚　中興大洞和尚　歓住類拙和尚
○蒼龍山宜雲寺　京妙心寺来　同寺
開山卓禅和尚　元禄七戌年起立

○海照山増林寺　約四三町ある様なり　5町
白衣観音堂　江戸三十三ヶ所　三十一番
○長光山陽舞寺　京教心寺末　5丁
○瑞鷲山臨川寺　同末　四丁大工
同山併頂南禅師
○蟠竜山長慶寺　鎌倉建寺末　数十町
誂仏　芭蕉翁　室井其角　服部風雪　三師の墓あり　本丸長六郎
○日照山中尊寺大日堂　長慶寺末
○東光山要津寺　妙心寺末　六号坂
同山　牧野備後守屋敷墓し
○祥雲山善徳寺　四谷竜昌寺末　四四寺田
○万徳山廣濟寺　東海寺末　猿江
同山潮音禅師　駅往千峰和尚

○法花宗
○法苑山浄心寺　身延末　寺領百石　ふの川
中興開基日念上人
地中　一乗院　法華院　秀陽坊　心浄坊　唱法坊　秀閑坊
○一向宗
○大護山周速寺　東本願寺末　○威益山西念寺　西本願寺末
○中郷山源光寺　本末　十ノ口
○真言宗
○圓戸堂　賢臺山法華院賢法寺　5町
同山芝春大和尚　寛永廿一年入寂
○瑞鶴光山万徳院　永代寺末　ふの川
○稲荷大明神　高照山勝福寺　天台宗　上野末　四角屋三人

廿一 本所 牛橋 猿江 大橋

○辨才天社　一ノ橋南の詰　惣検校支配
元禄年中惣検校秋山氏の起立今ハ寺社奉行惣検校の持
○深川八幡宮旧跡　神輿馬上ノ神像　開天ノ南陽
○御船蔵　一の橋より新大橋まての間大川ぞい
○旧立川　幅十五六間　海辺より中川へつゝく
○一ノ橋　元長十間　○二ノ橋　元長九間　○三ノ橋　元長九間
○中橋　新辻橋元　○四ノ橋　元長十間　○五ノ目　[illegible]
六ノ目ノ橋元　太の橋元　元ハ[illegible]
○撞木橋元ハ中の橋の下三方に[illegible]
○扇橋元ハ小名木川通新堀の橋の下三方に[illegible]

○元竹蔵　同向流の[illegible]今無之所[illegible]
○駒止橋　表通橋の東詰[illegible]
乃小[illegible]入堀の橋[illegible]
○乃葉の芦　[illegible]の小藩の芦なり[illegible]
[illegible]乃葉[illegible]
○蟬の橋　大川[illegible]
小谷[illegible]
○首尾の松　推木の西御[illegible]
[illegible]の橋[illegible]
○駒止石　推の東中[illegible]
星[illegible]云八幡太郎奥列発の時義家の馬[illegible]出[illegible]
[illegible]云[illegible]
○御蔵木蔵　推の東中[illegible]
○東西の馬場　浮蔵木義の下

○[illegible]水　小[illegible]あり面[illegible]よりあり[illegible]は
むし[illegible]を回復の時の用[illegible]
○上野屋敷　四の流[illegible]元禄のころ吉良上野介の
[illegible]
○横川　立川より横[illegible]
○撞撞堂　[illegible]川の西川[illegible]
○逆井渡　中川[illegible]九八十間余
○中川御番所　[illegible]
○砂村新田　小名[illegible]
○五本松　小名[illegible]
○釜屋　[illegible]鍋屋[illegible]
○大浦　○猿江　[illegible]

○牛洗　[illegible]
○淨土宗佛閣
○國豊山回向院　増上寺
開山増上寺貴屋上人　才二世信誉上人　釈住二世薫蓮社春誉上人
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

為院に寺号なし　世俗無縁寺と号する事は革創の事なり
今の本堂の北は一堆の義塚なり　法華塚のしるし金剛の法花
を安置す堂は今の方丈の地南向なり建立天和二年十二月廿日
出来なり　後堂を塚のしるし建立金佛を安置す
元禄十六癸未年十一月廿九日まさに失火なり　金剛の法花鎖
あるなり　四世の鞭峯大禅師経千巻ひろめ仏を修して堂前
に立碑をたてる　本堂に安置す今の本尊なり
△鎮守弁才天　藤芭弁天　弘法大師の作像立像二尊
開山大人勅許金佛の間千躰堂　しばしば
入り捨あり　大師の開創なる事を聞し
汀夜叉を脇侍　後法神　山門
はなし　今に開帳あり　稀に祈願
△山門　扁額に觀音堂安置　官野清九郎建立　山門は元禄十六
乃大災にもつれまさまさば　觀音八地蔵堂あり　宗旨六番
△雨宮童子　上宮太子　二躰

うしは蔵堂あり　仏牛馬の中ゆえより奉納　絵記あり
△馬頭觀音堂　内厩　厩の御馬を葬る　塚のしるし
獅子無畏の像を建立　疫を祈るなり
△三佛堂　方治手弁　町御奉行所より罪死刑死の亡魂あり
に一宇の堂を建立あり　弥陀釈迦大日の三尊を安置　石塔
一基建立あり　江都市中を毎日佛論をなす　僧十六口
法堂を任す
今日　乃沈沈を　岩田涼之
△別院い　小塚原にあり　乃亡者を葬
○大方山廣徳院華厳寺　徳通禅　水
開山向蓮社一誉上人信阿和尚　現住開誉上人普門和尚
開基のしるし　毎日四衆を集めて華厳を講ず
△はふ所や　本心徳の所の　是感応の徳なり
○宝塔寺　開山教誉上人是哲和尚　○光徳寺

○當日山西光寺無量院　知恩寺　浄土宗
開山源蓮社信誉室故英誉大和尚　現住八世　衍誉上人
寿長十一丙午小林久西郎之　観音堂　三尺金十三体　廿七番

○禅宗　佛閣

○天恩山羅漢寺　黄檗　五月日
開山鉄眼和尚　中興象先和尚　現住栄朝和尚
本尊釈迦文殊普賢五百羅漢乃僧共仏門　松雲道人
元禄八乙未八月朔日大圓廣慧国師開眼　其日ゴ号寺号
八額寺号ゴ中興象先和尚　市中の教化をこうむり
本堂羅漢堂方丈ホの法堂ホ　ゴ建立あり享保年中
堂法雖狭けれども　毎月晦日　大般若法行　十五日
本尊脇立大仏　石座獅子白象九九九尊　岩組に鷲落ゴし
羅漢八座像二尺寸ゴ階壇の上に立つ　堂八畳堂ゴ　ゴ像

○真言宗　佛閣

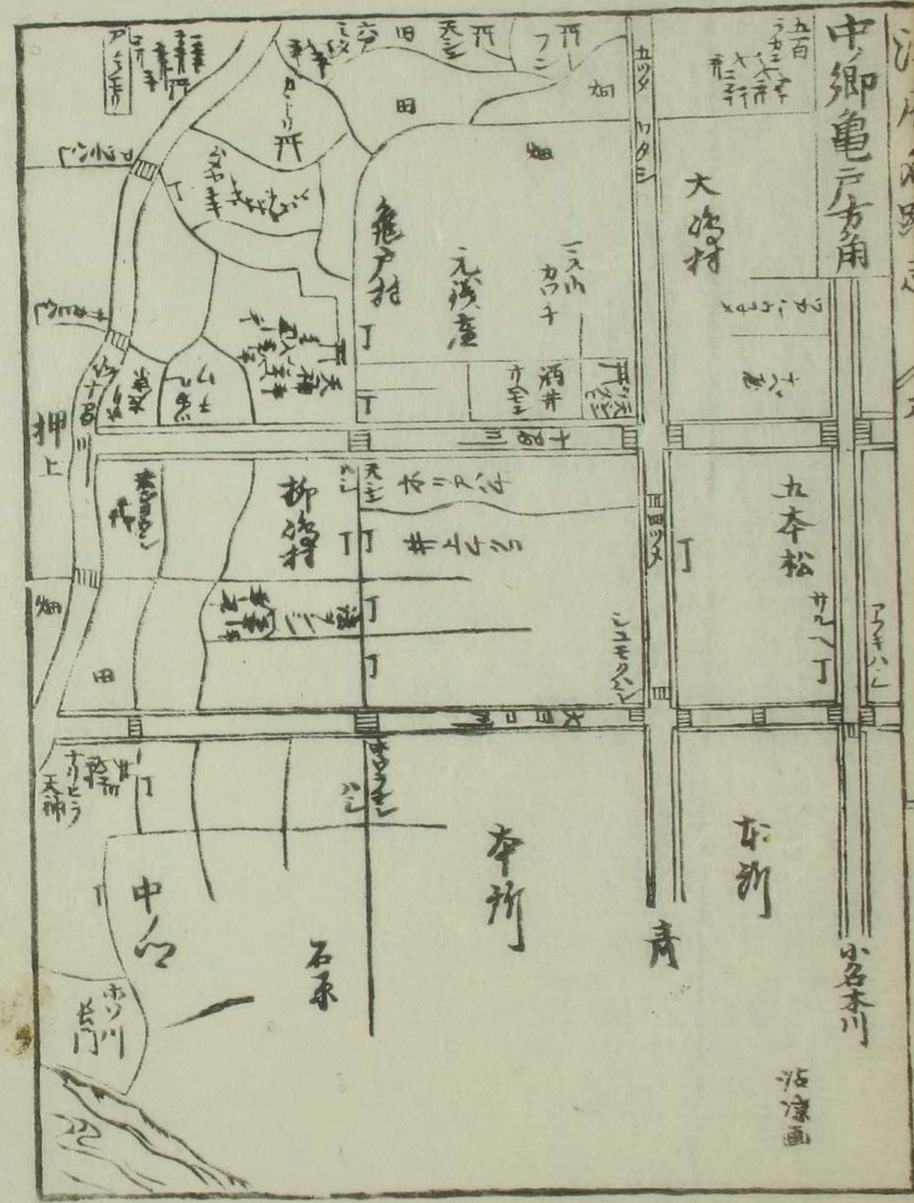
○方徳山弥勒寺　新義船頭　寺領百石　二月日
開寺　慶長年中　上寺所ゴ　天和二年　ゴ建ゴ
塔頭　法樹院　徳上院　正福院　宝珠院　正覚院　竜光院
○高野山大徳院　高野ゴ佛殿別當　一月日
本尊　不動　如来　現住義国法印
落間ゴ南都大佛殿前進ゴ
○勝智院　大師　○宝塔寺　空海
○光王寺　カヤ　萬門寺　猿江　○
○法花宗　佛閣
○正光山妙源寺　小倉西五ノ丁
開山中老僧天目上人　建武年中創
○照法山本久寺　日蓮
開山　十弦寺書未
現住十世　自成院日任

○本覺山妙壽寺
開山信入院日榮上人　正保年中創立
○藤江稲荷社　別当妙壽寺兼帯　日尊
○五野山慈眼寺
開山日遵上人　慶安年中創立　願住日然上人

○天台宗　佛殿
○多田茅所　玉淺山明星院東江寺　上野末　生駒大明神
中古ハ茅所ハ多田満中ノ名ナリ脱立不動尼講門日恵上人
〈元三大師堂
〈地蔵堂
〈鎮宅霊符神堂
○醫王山五量院泉嶽寺　寄末　六間観音別当兼帯　桜江
開山秀順法印　慶長元丙申起立〈薬師堂　中興慶範大和尚

中之郷　亀戸　隅田川　木下川

○太子堂　天台　宝珠山如意輪寺　浅草寺末　中之郷
聖徳太子十六歳ノ御影
厩戸皇子者。用明帝之子也。母曰穴穂部間人皇女。敏達帝二年。皇女巡禁中至馬官。当厩戸而産。故名皇子。生而能言。有睿知。及壮。聞十人訴而不失。聞識未然。習内教於高麗僧惠慈。学外典於博士学問。悉能通達。用明帝愛之。居宮南上殿。故名上宮厩戸豊聡耳太子。推古帝廿九年二月朔日。太子初施冠。官位。薨。年廿五。王臣百姓。如喪父母。婦女童子。如失慈親。耕夫舂米。杵臼不鳴。河内国磯長陵。葬。世俗称上宮太子云


中郷亀戸方角
大島村
亀戸村
元横堂
酒井
押上
柳島村
五本松
本所
中ノ郷
石原
青
小名木川
浅草橋

小村井村
大畑村
諸地村
本所村
牛田
関屋里
大田村
須崎村
小梅村
隅田川
橋場

○業平天神社　業平山東泉寺南藏院 天台　中ノ

当社ハ在原業平朝臣を祭ル云　開基林能法印

〈聖観音並ニ業平の影像〉と云

〈月光稲荷社　当社の地主なり

〈業平塚　つのくらゐの形と云

〈業平井　苔男蒸し　〈業平塚

九世別當良海法印霊夢の事あって南藏院ともし

社説曰　業平朝臣弁桃夭人ともしのぼみしの生

仏不ト小ニ為ル仏ノ事世ノ人ハ仏ノ像刻

しるを星人中ハ為を建て仏の像を刻ム業平天神と云

〈業平京國ハ物むこと能ハ歌ハ在平

和歌二条の后を妃一首ハ

歌をとそ和ハ人ハ物のこと

ハ物しまるよ物ハ中略　伊勢物語　ひと

ハ物ハ物ハ物

[illegible]

〇八幡宮　別當泉龍寺　天台　[illegible]

〇立身稲荷社

〇清雲山年天社　[illegible]寺末　年天[illegible]

〇大六天神社　中[illegible]町　別當大川[illegible]寺末

〇葉平橋　[illegible]年天[illegible]の例　〇法恩寺橋　九長十間

〇藻留　[illegible]

〇源平橋　[illegible]

〇三圍稲荷社　別當三圍山真珠院妙命寺兼帯　小梅

[illegible]年代不詳　[illegible]

泰詣の輩　神[illegible]

[illegible]

食を[illegible]

南[illegible]

〇[illegible]孫の須賀宮井其角[illegible]

[illegible]

[illegible]

西方へ向へこの所へ来給ふ人々の
中にて此所に来給ふ人々の
夕立や田を見めぐりの神なるべし　其角

○三圓山真珠院延命寺　天台
中ノ比中氏度々作し
尾ノ不動尊　中ノ比尾州
[illegible]

○牛御前社　牛島　別當牛室山月王院寂勝寺　慈帝
貞観二年庚辰慈覚大師の勧請し奉神進雄神と云
神社略記　牛頭天王と云ふ牛頭天王素戔嗚尊
[illegible]　中ノ間ハ大政所牛頭天王素戔嗚尊垂跡東向八王子
五男三女西ノ間ハ稲田姫本御前牛御前と云ふ牛頭天王と云ふ
牛御前と云ふ牛頭天王し姫本御前ハ夫婦の神なるべしとそれを
[illegible]神号[illegible]王子なる権現の相殿なり陽成帝元慶年中
清和天皇の皇子を奉ると云ふ八王子なるべし
名所記　建長の比ハ浅草の一社の神にいまし給ふ
[illegible]
浅草寺ニ牛ノ者忽然ノ出現　奔走寺ニ于時寺僧五十口討
食堂之間ニ集會也見件之怪異廿四人立所受病癩起
居進退不成居風云々七人即座ニ死ス貞観年中
八百六十余年建長八百八十年余し牛鬼の出ハ

家勝寺に石碑あり迦葉仏中より掘出すなし
表に釈迦の像　奉造立釈迦像一軀
青石六寸四尺余　中二尺　裏　貞観十七乙未天三月日
原寸三寸ばかり　法華千部　明王院
○御旅所　小菅所　祭礼九月十五日隔年　お所の旅所なし　天台　上野末　北東所
○牛宝山明王院家勝寺　貞観年中の草創なり　〇不動明王　良弁僧正作
実永の頃廃し所成あり所殿の跡と云あるとも王子まつりて小祠と
○神明宮　定朝と神宮寺　家勝寺地　同所
○庵清　法名小田切三郎　中ちく金剛大人の弟子　信阿弥陀仏
恐城中所田大中ちく金剛大人の弟子　奉仏の後の後の後
形ちん為寺のもるにちん　回向院の門前なるべく蘭仏
中年あり甚幼なる歌をよくよく甚八人名所のよろしく
法名寺代不詳　為寺再興を計り　此寺仏中と為称ずして表旅所

○秋葉大権現　両社勧請　別当千葉山満願寺兼帯　法名
千代世稲荷社
法名年代不詳　元正應年中の草創なり　四百三十余年
〇神水　松の根より流出るもろくの病に妙験あり
○千葉山満願寺　真言　三宝院末　中ちく
○庵清　法名村ちく　弁基法師
勅勅願　まつりごと　〇〇〇〇
○白鷺大明神　別当家蔵院　寺法門
法名寺代不詳　法名寺代不詳
○天　台　宗　備　岡
○喜桂山成就寺　真言　岡山法印舜慶正和三甲子起立
○長景山清光寺　〇東　栄寺　〇〇〇
岡山後能法印　現住純栄　〇醫王山松林寺　〇高竜山普賢寺
○醫光山東竜寺　〇〇〇
岡山宗賢大和尚中興慶長大和尚文明年中の起立

○長勝寺　中ノ丁　押上
○弘誓山徳正寺　押上　○常照寺　押上
○天羅山真盛寺　天台律宗　押上
○自然木出山釈迦佛　隆賞山生山寺
○七観音　宝松山金性寺　開法印朝尊和尚　上野表　牛山茶のゝ
○宝壽山遍照院長命寺
慶長元年清鷹野の時所の秋
御茶屋の時寺の名を問りて
行ふ所の時寺の名を問りて
うけ上ル　公不例早速御
鈞命あらせ　合掌あらせ　慶
○禅宗佛　開
○牛頭山弘福寺　黄檗流　開山鉄牛和尚　牛山前ノ陳

○鎮護山願運寺　禅宗　曹洞　石原町
開山附山栄伯大和尚　慶長元年創　釈住世德峯泰輝和尚
△新美稲荷大明神　本尊聖観音
出稲荷八幡古ゝ石原の鎮守慶長元丙午出勅願ゝ
境内東西二十二間南北十八間ゝ九三百九十六坪余
鎮林茂林寺永明四大寺号九世清公栄伯和尚出勅願
同六年十二月正木内膳九郎六郎乃勅願を賜ひ願寺
全通菴ノ手ゝ
○向東山天祥寺　小松代地
松浦家建立
○白牛山定林院　牧栄　小松代地
○貞源山松岳寺　中ノ丁　開山吉門和尚
○東向山秀命寺　中ノ丁　○昌現寺　月末　ゝ
○延命山栄寿院　逼塞ゝ末ゝ
○常在山霊山寺二尊教院　開
開山金遊社事栄上人大起和尚　十八檀林　上水ホリ　寺領五十石

本尊阿弥陀　慈覚大師の御知恩院御門主尊空法親王御相
そなへ尊空法親王ハ五摂家の[illegible]　会佛堂
御廟堂境内にあり　観音堂
寺社古い湯殿書惣坊のこと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

谷中にうつる之縁寺中にしばらくうつさる

○妙栄山本法寺　玄旨坊　十条坊　真如坊　住論坊　上永ゆり
寺中　法之院　玄海院　出ル

○弘法大師神　安楽山本覚寺　寺代三十石　上永ゆり
寺宝寿宝大明神ハ弘法大師ハ自の筆の像刻　出ル

○久遠山常泉寺　大石寺末
中興開基日有上人　寺中　玄秋坊　玄稙坊　玄住坊　中ゆり

○正栄山妙縁寺　日蓮
開山日舜上人　寛永九酉年ハ寺大石寺十九世住名　押上

○天秋山最教寺
開山仙然院日宗上人　寛永年中建立　押上

○妙見山法性寺　真言宗末　行徳十右ヱ門
妙見堂下リ　ハ妙見ハ松ヶ谷ニあり

○長瀬山春慶寺　日蓮宗末　あの所
押上

○是應山寛相寺

○光英山清雄寺　中ゆり

○春陽山永隆寺　出ル
○宝聚山大法寺　法恩寺末　ゆり
開山大雅院日巧上人　中興日陽上人　寺中　玄昭坊　正光坊

〈廣布石〉云あり石の面に祖師の御筆有影あり寺宝の云
世伝これを千葉石塔と云しかるに古碑なるゆえ宗の名聚云い
まゝ〳〵宗名なりしかるに今の名聚云ハ
をそれ〳〵その墨石を移すなり又堂の前に小社
あるなり

○隅田川　半田

○隅田川　元禄年中ハ隅田村の内今ハ墨田村の内
の外人家多なるゆえ今ハ隅田の名をとゝめ
てすゝ〳〵川と唱へ清流なるゆえ清流
四川とよびて名高き名所なり隅田村
とよびて今ハ墨田の名ハ此川より出る
○漆の渕　本母寺の上にしゝ谷の中屋敷水原の谷にあり
なるゆえ清流なるゆえ渕ハ深くてあるゆえ

○梅柳山本母寺　天台宗　さぐら村

梅若丸の墓　本堂のまへにあり柳をうゑるむかしの柳にて柳落
かれとく株のこりあり其の柳をうゑしのち柳ばかりをうゑしの小祠あり
村人柳をうゑしのち　山王社あり

△常念佛堂　九智如來

△梅若丸の扇　赤ひかたにくさ青かきの文字にして風流なるもの

△梅若丸御彩像　母如亀尼の筆なり　おのく為の什賛し

△梅若丸忌日　三月十五日　年毎に茶請群集す

十三年保十三年　梅若丸七百五十年忌の開帳供養の時なり

梅若丸忌日　御制歌

新拾遺集

限りなく春にあくがれ来てしかな
花の上にしたしき人の名残なりけり

玉葉集

澤田川都のつとにとはばこそ
澤田川都のつとにとはばこそ

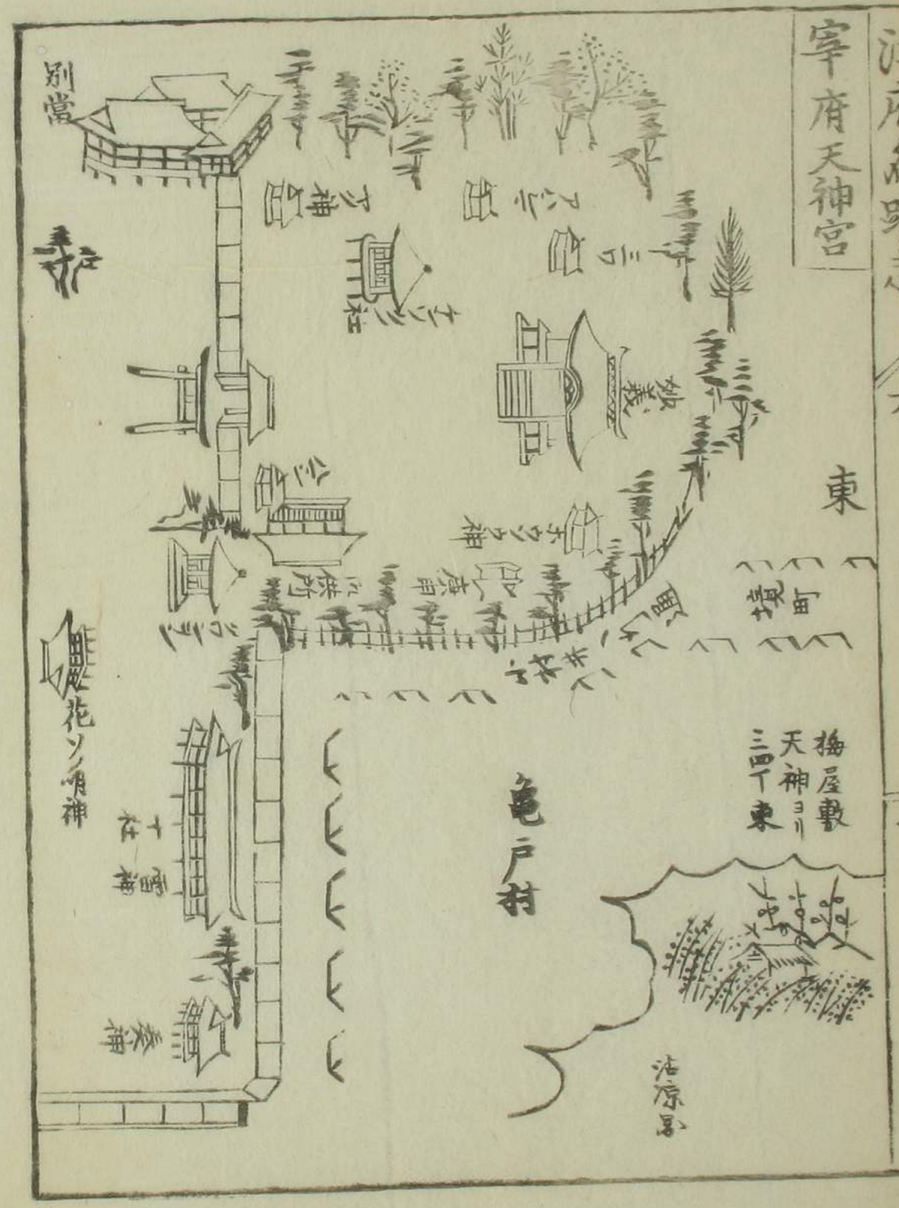
○七橋の跡　此所の大小七橋あり里民の云往古武蔵下総の間より大船七人あり而て橋を掛て往来したりしかくの水底よりその橋杭の名残今にありと云

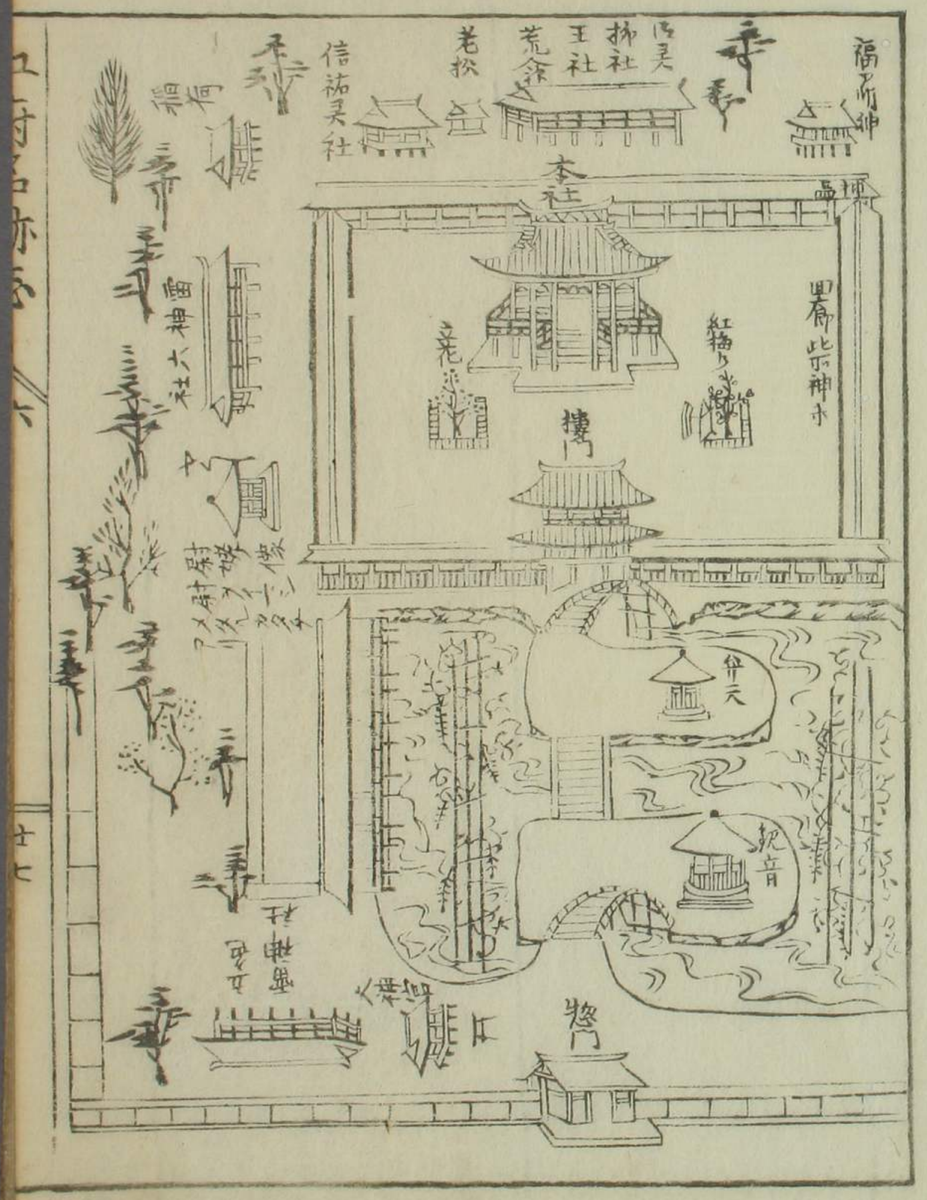
○若宮八幡宮　舊西の又村　別當東正院

文治五年源頼朝公奥列泰衡退治の時此神前を過り給ふ命により彩旗の幽津乃浦造営あり[東鑑六云]文治五年七月十九日己酉二品為征伐奥州泰衡発向給中略　凡鎧倉出御勢一千騎也　此時の事なるべし

○鐙摺の笹　八幡太郎義家公奥列征伐の時此所の笹の葉に鎧を摺て小る上より耻辱のさくなりし笹なりてなりしとて今いうもてなりしとて今いうもてなりしとて今いうも

宰府天神宮


別當
東
西
梅屋敷
天神ヨリ三町東
亀戸村
法花ノ角神
十明寺社
法原寺


福所神
信祐天社
老松
荒金
抑社
王社
本社
紅梅ノ紫神ホ
花ノ
鐘
弁天
観音
鐘
西神社
八幡宮
射場
門

△祭礼八月廿四日　隔年し△名越祇園毎年六月廿四日浅草川にて執事

△菊　みさしの池とうとう十余丈よりなる　南社乃白菊

池より二つの反橋あり　雪の暁寒梅ほつほつ信ずし

題二橋雪　何年の御殿ハ冷々雪乃夜　北九倫仙

△妙義社　上列　妙義山なるべし　山祇ハ紫云御殿の法華経

の冥家の冥神なるべし　宮家の用いし妙義の神託を上へ巫女多

法照坊尊意僧正ハ應神帝の御冊生代平安城の人なし天慶の頃者子

恒昭に云我年来拝奉る生り人に称ふ所今鬼卒天なる事を敬ふと

春秋七十四にして寂す　△天神末社ハ略す

○梅屋敷　天神の三平東　清香菴　堂真斎　亀ヶ門

臥龍梅と称せるもの　龍のごとく十余丈なるもの　枝ハ地

中より今二つに幹となりて　枝ハ地

ひくし　香い蘭麝をあらそひ　艶梅あり　如し　今の世ハ

園をもくぶるあり　実を宝とす　大きく　酸し

近き頃ハ世ひろく　花の色香も　[illegible]

たくさんの雪のごとく　故歌の人　詩歌連誹紙筆ともどもあり

散く一車に積る　江戸一の名あり　△天満宮の小祠あり

題臥龍梅　うゑうゑや　花の鮮　乃志のくんめ　菊田沾涼

世よりもく　梅や栄　懐の奥　ふ　中島立良

月のうゑ　老馬も　北尾千流

ゆるる　梅乃色　炉　菊田梅五

書　梅しく　梅の道　坪井千枫

うゑ井　の　繪　糸物

○亀井　[illegible]　笠井魚郎

△大樓あり　天下太平の文字を虫食　太平板と云へきか

○反の井　取　不洋

[古舞子] 亀井を天神の近所　反の井と記す　[紫一本]ハ農家のごとし　梅乃

きれいなる　[illegible]　大きなる　[illegible]

大木あり　梅を　[illegible]　時　[illegible]

井戸ヨリ方七尺ヶ程深クシテ水常ニアリ旱魃ニ涸ルヽ事ナシ
雪中ニ雪ツモリシ草木無ク唯アラヽカヽク蔵の
根ヽヽヽ古書ニ記ス所の蔵梅ヨリ出テ尺ニ及ブ云ヘリ

○千葉石　取不詳　前ニ云ヘル如大法ものゝ石なるべし

古来ヨリ　亀井ヶ天神ニ奉ルヽ居住の所ヨリ出ル云ヘリ
その所ヨリ湧出ヲ以テ用ヲ足セリ

○神明小祠　郡中ヽの濱方ヽヽ云農家の中ヽヽに大板
あり里民の云濱辺の濱城行城の祈をつなぎたる事と云ふ
いかヽヽさすもあれ事信ヨリ神明宮をいふと云

○香取社　亀戸　神主　香取越後守

総列香取　御名往古ヨリ年代記ニ神代巻　斎主神ヲ号
斎之大人此神今在東国　職取之地也　神書抜　斎主祭神
之別称　職取地各在東海道下総国ニ作ル香取今為

郡名故　鹿津主ヲ号ス香取ノ明神ト是春日第二ノ神殿也

○同社　小村井村にあり

○水神森　六ヶヽヽの南　松四本あり　亀戸宝蓮寺ノ
○元天神　同所　亀戸の天神始て祭ル所の所ヽヽ

○富士浅間社　亀戸の内東六ノ間ヽ　亀戸若宮門流ノ祭
毎年六月朔日祭ル　始也の富士ヨリ勧
○天神御旅所　本所四ノ目立川ヽヽ
○小梅橋　押上　○境橋　小村井ヨリ亀戸坂町ヽ
○吾妻橋　境橋の下し　此ヽ橋皆小十間川ヨリ出ル

○六阿弥陀　六番目　神宗　亀戸
開山行基菩薩　本ヨリ法自作
○来迎松　堂の前ヽあり中古大災の時枯ル此ヽ
枯ヽゆへ名付しヽし　○竜燈松　堂の前ヽヽ石ヽあり

○東林山華藏院宝蓮寺　真言　寺傳蓮光寺末　亀ヶ
岡山真鑁法印　乾元二癸卯開基　吾妻森別当
本尊虚空蔵菩薩　安阿弥の作　行房三虚空蔵の内なり
所謂三佛ハ　小栗川　粮形寺　白山西坂下正福寺　當寺し
是なるなり　按ニ乾元い一年ゆく改元し二年癸卯い和元
元年乙巳九十三代後二條院の時なり　凡四百三十年程　享保十七壬子
○福聚山普門院　真言　日不
本尊大日如来　観音堂
寺傳弘法神光經印絶如　疫病除の守なり
○慈眼水　名所なり　南東方の大寺風景殊勝なり
○明王山東光寺　日宗　寺号　日不
○宝性寺　寺号　日不　○不動院　寺号　日不
○秀明院　日　日不　○慈雲山竜眼寺　天台　日不
○施無畏山善竜寺　天台　金竜山末　日不

○香林山金蔵院　天台　仲天弘法大師作　法孝東光院末　日不
○龍命山光明寺　日　岡山伝宗法師　日不
○教智山清心寺　浄土　再興定勢六世念誉上人　日不
岡山心誉上人大落和尚　○竜光寺　真言　古法蓮花寺末　日不
○亀命山慈光院　曹洞宗　橋場紀州寺末　日不
岡山肅列　蒙大禅師
永正年中　葛西出雲守建立
○本尊大日如来　弘基の作　東方の畑の中より出現
○法華天竺天神　雨宝童子　春日作　八幡天　智光大師の作
○小村井　木下川
○吾妻森　小村井　亀戸天神より四十丁巽　亀戸宝蓮寺
吾妻大権現社　石の宮殿し少小さき所あり　南北
左沈姫の御廟なり　鎮座い是行帝七十六年し卯　享保
凡二千歳よりなり云つ　寺内一の古跡し上古のより寺墨

[illegible]を天文のころ遠山左馬之本隼人
井出大学[illegible]云人再[illegible]

題吾妻堂　僧ひろう風の[illegible]る[illegible]森乃宮　菊岡布仙

〈神木　連理の楠大高なり一本より女木男木あり

〈稲荷社　[illegible]社なり〈浮洲麦[illegible]岡社の遠し葛西ときを以遠之

立花姫神霊東海鹽八百會陽魂止給海上守護船

玉[illegible]なり[illegible]海上[illegible]船[illegible]

十月なり日本武尊相模国より進んと上総に到らんとし船を[illegible]

海中[illegible]暴風起り波[illegible]船危[illegible]時尊乃妻[illegible]

[illegible]橘姫[illegible]云あり穂積氏忍山宿禰なり尊に言て云風起

波[illegible]是海神の心也[illegible]

妾の身を以て命に贖[illegible]海に入[illegible]自海中に入[illegible]暴風怒

[illegible]君去津

[illegible]云[illegible]君の去津[illegible]

昔立花姫の霊社[illegible]〈立花姫の本土相州[illegible]大磯梅沢乃

入口[illegible]上の[illegible]橋姫の[illegible]

云又海[illegible]

[illegible]〈又当社は稲荷の神[illegible]云説あり　菴主云む

[illegible]日我に是立花姫の[illegible]

宝[illegible]海[illegible]

[illegible]海中より入[illegible]竜神[illegible]

[illegible]

又云迫月夕陽[illegible]

[illegible]

[illegible]

○木下川薬師堂　寺号云　青滝山浄興寺宗玉院
開山慈覚大師　本尊薬師如来　亀毛川の辺
北条氏康武蔵野紀行　天文十九年仲秋の比ひさしく
中略　菖蒲の庄浄興寺の長老八十ばかりなるひじりの
[illegible]

○少龍の観音　菖蒲郷村にあり　けだし西国
[illegible]

○利根川　武蔵下総の境　坂東第一の大河なり俗坂東太郎
△松戸御関所　水戸道中　△栗橋御関所　日光道中　△川俣
△五料　△実政寺云御関所八上列侯なり皆此川邊にあり
○加[illegible]の郷　利根川の堂又村にあり
[illegible]
○北条と東菖蒲の中間にあり西を西菖蒲という
○鶏大明神　花又村にあり
毎年十月酉の日市を立つあり此日花の商を業とす
近在より集りて人々の市をなす社神事の心なし
[illegible]
○東菖蒲郷　東川　弁財　長福　二ノ江　今井
[illegible]

廿三

下総國葛飾郡八幡

市川邨　江戸より三里余

○真間山弘法寺　法花宗
開山日頂上人元和真言山伏なり

△真間の継橋　大門の右長屋を今おしの門と云海より四五丁

[illegible]　玄國

新勅撰集　[illegible]

風雅集　五月雨[illegible]

△手古奈明神　石階の下にあり

むかし一人の美婦あり身まづしく藻を刈て水汲なりわれ

歌良美なる事宮女にもまされり懇懇にかなしびあり

所を投じ墓を神としまつりしに亦人

万葉　[illegible]

枝折萩　[illegible]

△真間井　[illegible]

△樓門　石階のうへにあり真間山と額あり

△真間紅葉　本堂[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元和の真言宗にて山伏指ひきなりしの中に[illegible]八

[illegible]日蓮上人と法を論し山伏法華の真理を[illegible]

日蓮の弟子[illegible]法花の[illegible]場を設ひ[illegible]真言

[illegible]日蓮[illegible]

[illegible]祈禱を[illegible]

○安国山総寧寺　寺院三宇　真間のうしろ二三町へ行

開山通幻和尚　関東僧録[illegible]寺小日向

元八道[illegible]天正三乙亥小条氏政下総国葛飾[illegible]

世世泰[illegible]

△大門 安国山乃額ハ 大明院様御親筆也

△遠灌 ○樋口樋 大門 安房国里見義成の物語

△城山 拾穂寺のうしろの山なり 石の唐櫃 玉泉堂の軍と云ハ涉の事なり

乃ち曙布を ○中山 正中山本妙法華経寺 真間ヶ一里東

岡山日常上人 直井寺 法花談所なり

○國分茶師 まるより十丁ほど南のうしろ

○袖乃浦 行徳の入口なり 又葛浦と云

入口のうしろ袖の形なり 絵景の地なり

大尾

六之巻軸

菊岡南僊奇沾涼自書

跋

古人有レ言レ校レ書ヲ如シ風ノ葉ノ塵ノ埃ノ隨テ掃ハ隨テ有リ誠ニ哉此編ハ予ノ稿ヲ數回然ルニ尚不ル自ラ以テ爲レ是ト數ヘ刪ル定ムルニ毎ニ一ツ過レ目ヲ輒チ見ル舛遺ヲ因ツテ雖ト考ヘ舊ニ記ヲ求ムト當ニ時ニ尚非ス無キニ遺レ憾ム焉況ンヤ予カ之陋ニ識

寡聞詎免乎傍観之誹笑
冀侍博雅之訂正也已

崔下沾涼

享保十七壬子歳仲夏吉旦

江府書林 日本橋南二町目 岩菜屋小兵衛梓刊